

令和 3 年 度

広陵町土地開発公社第 1 回臨時理事会議事録

広陵町土地開発公社

## 令和3年度広陵町土地開発公社第1回臨時理事会議事録

令和3年8月16日(月) 令和3年度広陵町土地開発公社第1回臨時理事会を  
広陵町役場2階町長応接室で開催。(開会午後1時26分)

### 1 出席理事

理事長 松井宏之      理事 青木義勝      理事 植村佳央  
常務理事 中川保      理事 奥田育裕      理事 吉田英史      理事 小原薫

### 2 出席監事

監事 笹井由明      監事 巳波弘一

### 3 出席事務局職員

用地開発課長 山内孝道      企画政策課兼用地開発課主任 小石原匡伸  
用地開発課主任 森正行      用地開発課主事 糺谷直人  
用地開発課リーダー 西崎嘉一

### 4 理事会に提出した議案

(第1号) 箸尾準工業地域工場用地造成事業の事業計画の変更について  
(第2号) 令和3年度広陵町土地開発公社補正予算について

### 5 その他

・特になし

### 6 議案審議

(第1号) 事務局から議案について説明を行い、「事業地の接続道路を考慮して町道南22号線への接続を図るため、追加区域の買収計画をしているが、その接続点から右折しようが左折しようが道路が非常に混雑しており、大型車に通行規制を掛けられれば良いが、大型車の通行は厳しい。

その点を配慮しての計画か、また、周辺住民に影響は及ぼさないのか。」との質問があった。事務局から、この件に対して、接続点の歩道が狭く歩道の確保が必要と認識しており、地元への慎重な配慮を図っていく、との答弁があった。

続いて、「追加買収分を補正予算で対応することになるが、企業の希望する立地面積に応じた地権者交渉が十分図れるのか。企業の立地条件を聞くだけではなく、地元への配慮が必要となる。出来るだけ早く事業用地を確定させ企業の立地計画がスムーズに取り組めるようにして欲しい。」との質問があった。事務局から、この件に対して、売却単価の増加も発生する。事業区域を確定しないと各企業の利用計画が進展しない。用地確保に全力で取り組んでいく、との答弁があった。

以上により、第1号議案及び第2号議案は承認された。

7 その他意見

①予算書の数値に整合を図ること。

②公社の当初予算と同様、補正予算も議会の議決を得ることになるのか、また、債務保証限度額はいくら増加するのか。

との、意見等があった。

事務局長から、数値の説明と修正を行うこと及び公社の補正予算は議会議決を要しないが町議会全員協議会で報告するとの説明があった。

8 その他

事務局長から、代替地の処分等について、別途、理事会を開催したいとの意向が示された。

議長から、他に関連質疑がないかを諮ったが、質問等のない旨の回答があったため、議長から理事会閉会の宣言があった。

(閉会午後2時23分)

上記のとおり、令和3年度広陵町土地開発公社第1回臨時理事会の議事の経過及びその結果を明確にするために、この議事録を作成し、議長及び出席者2名が署名する。

令和3年8月16日

議長 松井 宏之



署名人 青木 義勝



署名人 中川 保

